

## 第3章 ビルのタイプ別安全性の問題点

### ホテル

典型的なセキュリティー上の問題点

#### 公共地域

- 5 従業員への暴力
- 10 Other thefts from premises
- 15 Customer only access

#### 客室

- 1 一般的な侵入犯罪
- 8 外来客手荷物

#### スポーツジム、レジャー施設

- 8 外来客手荷物

#### その他一般的なエリア（関係者以外立ち入り禁止地域も含む）

- 1 一般的な侵入犯罪
- 4 現金強盗
- 7 雇用者による窃盗

#### 駐車場

- 11 駐車車輛

#### 参考文献

ホテルにおける特定のセキュリティー問題についてのpublished調査は見られない

## レジヤ－・スポーツ施設

典型的なセキュリティー上の問題

- 4 現金強盗
- 5 従業員への暴力
- 8 外来客手荷物
- 11 駐車車輛
- 12 駐輪場
- 18 非行少年グループ (Loitering groups of youths)
- 19 Wilful damage

### 解説

フットボールスタジアムでの観衆の振る舞いを管理する問題は、Hillsborough (Taylor Report, 1991) の大失敗に続く Lord Justice Taylor's report の中で議論されている。

この多くは、他のセキュリティー局面と、スタジアムの設計について包摂している。多くのガイドラインについては Football Stadia Advisory Design Council によって発行されている。

### 参考文献

Good Practice

Football Stadia Advisory Design Council

いくつかの FSADC のガイドラインはセキュリティーに関連がある。

Sports Council (1990)

Design for Safety in Sports Halls : Security

Taylor Report (1991)

Hillsborough Stadium Disaster Final Report

## パブ、バー、レストラン

### 典型的なセキュリティ上の問題

- 1 一般的な侵入犯罪
- 4 現金強盗
- 5 従業員への暴力
- 8 外来客手荷物
- 10 Other thefts from premises
- 11 駐車車輛

### 解説

Keeping the Peace : a guide to the prevention of alcohol-related disorder(MCM Research,1993) は公共住宅のデザインに関する、いくつかの一般的な基本方針にとりかかった。そのガイダンスは調査に基づいており、一般的な設計とレイアウトへのアプローチについて扱っていた。

### 参考文献

Good practice

MCM Research (1993)

Keeping the Peace : a guide to the prevention of alcohol-related disorder

## TRANSPORT INTERCHANGES

### 典型的なセキュリティー上の問題

- 4 現金強盗
- 5 従業員への暴力
- 8 外来客手荷物
- 11 駐車車輛
- 12 駐輪場
- 15 Customer only access
- 18 非行少年グループ (Loitering groups of youths)
- 19 Wilful damage

### 解説

従業員への暴力 (§ 5) に関するいくつかの調査は、切符売り場とプラットフォームのデザインと関係の中のロンドンの地下鉄において実行された。最大の問題は、深夜の孤立している切符の販売員に関するものであった。Poyner, Warne (1988), Webb, Laycock (1992a) 参照。

### 参考文献

#### Research sources

Poyner, B and Warne, C (1988)

Preventing Violence to Staff

Webb, B and Laycock, G (1992a)

Reducing Crime on the London Underground: an evaluation of three pilot projects

## 公共駐車場

### 4 現金強盗

### 11 駐車車輛

— 盗難

— contentsと部品の盗難

— 損害

### 14 飛行場の駐車場

### 19 Wilful damage

### 20 落書き

## 解説

Secured Car ParkガイドラインはAssociation of Chief Police Officers(1992b)によって、駐車場をより安全な場所にするための特徴のチェックリストを見分けるため発行された。チェックリストには、囲いのある駐車場と野外の平面駐車場の2種類がある。しかしながら、実際の自動車犯罪のレベルは周囲の状況によるところが大きく、デザインの特徴もまた関係している。このように、チェックリストに不十分な記録しかつけないショッピングモールの駐車場では、通勤者が使う、よりよくチェックリストに記録を残す駅の駐車場よりもおそらく犯罪率がより低いであろう。

自動車犯罪と同様に、Secured Car Park initiativeは、この指針では扱いきれなかった個人的な安全性の問題についても取り組もうとしている。しかし、駐車場での強姦を含む、暴行事件の危険性があり、この広がりや強調しすぎるべきではない。駐車場での主な問題は、暗闇や人気のない場所での暴行の恐れであろう。

反対に、一般的な見方としては、女性は角を曲がった時に、何者かによって飛びかかられたり、奇襲されたりする恐れがあるというものがある。より似通った攻撃の様式としては、彼女らを待ち伏せするよりむしろ、駐車場に入るまで彼女らの後をつける方法であろう。そのような暴行は階段付近のmulti-storey駐車場に限られる傾向にある。エレベーター内で見知らぬ誰をつけることはより難しく、人が大勢いる駐車場では暴行事件はありそうもない。Naturalまたは正式の監視の目をくぐりぬけた車内からの盗難を減らすように設計された駐車場は、暴力事件や強姦は起こりそうにもない。

## 参考文献

Good Practice

Association of Chief Police Officers (1992b)

Secured Car Parks

# ガソリンスタンド

## 典型的なセキュリティー上の問題

- 1 一般的な侵入犯罪
- 4 現金強盗
- 5 従業員への暴力
- 6 万引き
- 10 Other theft from premises

## 参考文献

Good practice

Lincolnshire, Nottinghamshire and Derbyshire Police(undated)

Garage Forecourt Security

Security for car sales lots.

Petrol retailers Association(1993)

P e t r o l Filling Station Physical Security Measures

## 病院

### 典型的なセキュリティー上の問題

- 1 一般的な侵入犯罪
- 5 従業員への暴力
- 7 内部犯行の減少
- 8 外来客手荷物
- 9 職場での個人の所有物
- 10 Other theft from premises
- 11 駐車車輛
- 15 Customer only access
- 16 関係者以外立ち入り禁止地区

### 解説

イギリスにおける、病院のセキュリティーに関する主要な情報源はNational Association of Health Authorities and Trust (1992)によってプロデュースされたNHS Security Manualに見られる。

この手引書は、新しい病院設計ではなく、主として現存している病院の経営と関係している。セキュリティーの知識と薬品、リネン、食料の貯蔵などを扱うことが広く及んでいる。現金、インフォメーションセキュリティー、侵入、そして暴力などの諸問題について言及されている。設計者によって書かれたものではないが、この指針は有益な経歴を持つ情報を提供できることは明らかであろう。

しかしながら、これには不信な点をもつ要因がある。なぜならば、現存する病院での典型的なセキュリティーの実践はもう十分成されてきているからだ。最近の研究では防止策の損害と個人的防衛の問題は解決には程遠いからである (Crime Prevention Consulting, 1993)。その報告書にはまた、自然犯罪と犯罪の広がり、NHSの病院内での所有物の損失に関する信憑性の高いデータが含まれていない。これ以上の情報なしに、推奨するセキュリティーの実践の効果を判断するのは不可能であり、そしてまた、犯罪防止やその他のセキュリティー問題に関する信頼できる調査研究を実行するのは不可能である。

## 危険性に関する調査

1980年代半ばのある研究が、ある病院での犯罪問題を調査しようとする試みを実行した (Smith, 1987)。その調査の方法とは、従業員による犯罪経験のアンケート調査であった。そのアンケート結果において興味深かった事といえば、従業員が遭遇した犯罪というのがNHS Security Manualの中で大幅にカットされていた問題に集中していた事である。従業員について最も多い危険は自動車や自転車の盗難や損傷であり、それに続いて個人の手荷物の盗難であることを明らかにしている。NHS Security Manualの中である程度触れられている暴力沙汰への脅威は、同じくSmithによっても報告されている。しかしながら、その問題が実際に全体としての比率より、病院の従業員において深刻なのかどうか、という点で疑いの余地がある。

Crime Prevention Consultingの研究では、'Staff only access' におけるセキュリティー問題の重要性について確信をもたせている。関係者以外立ち入り禁止地区は、病院内でおそらく一番重要な環境であろう。従業員が、近道したいがために悪用する火災非常口は一般的な問題である。病院のコンサルタントは最も立ちの悪い違反者である。小児病棟のような場所で、出入りしやすいようにと深夜までドアを開けっ放しにしておいてくれという主張があるが、その主張のせいで、他の従業員や、患者、所有物のセキュリティーが侵害されているという点で、実証例は確認されている。

## 設計要因

病院内での従業員への暴力防止に関する問題では、design and planning of accident や緊急病棟は危険性を減少させることができる、という完成度の高い見方がある。Health and Safety Commission (1987) による報告では、いくつかの設計に関するアイデアがあった。Planning of receptionや待合室に関しての提案や、十分な個室の供給、騒音の抑制、照明、色使いなどへのアイデアは被害発生への減少に貢献したことであろう。これらの提案は、設計者に関心を持たせるが、残念なことに、これらの正当性の検証に成功した調査はほとんどない。

最近の調査研究は、病院内での犯罪防止に関わる重要な2種類の設計要因を (NHS Estates, 1994) 発見した。第一に、内部警備は従業員、患者の待合室などのstatic peopleがいるエリアで改善されたが、moving peopleのいるエリアでは、セキュリティーの改善は見られなかった。第二に、病棟の外での自動車犯罪は、窓やドア付近から見下ろせるような場所では減少しているが、近くにドアがないような盲点になる場所では、減少したとはいえない。

## 調査・データへの必要性

要するに、病院内でのセキュリティー問題に関する有益な情報が非常に乏しいのである。最も良い設計におけるセキュリティーへのアプローチについて、不確かなことが多々あるのは明らかである。本来の安全な病院の設計に関する問題は、設計者やその依頼人に



とって、明らかにやりがいのある仕事であり、また、次の研究や発展に向けての重要な分野であるのだ。

#### 参考文献

Crime Prevention Consulting (1993)

Preventing Crime in the NHS: the management challenge

Health and Safety Commission (1987)

Violence to Staff in the Health Services

Smith, L J F (1977)

Crime in Hospitals: diagnosis and prevention

Good practice

Burstein, H (1977)

Hospital Security Management

Colling, R L (1992)

Hospital Security

このアメリカの本は、主に現存する病院での警備経営に焦点が当てられている。

National Association of Health Authorities and Trusts (1992)

NHS Security Manual

NHS Estates (1994)

Design Against Crime - a strategic approach to hospital planning

Nichols, J E (1983)

A Guide to Hospital Security

## 学校

### 典型的なセキュリティー上の問題

- 1 一般的な侵入犯罪
- 5 従業員への暴力
- 9 職場での個人の所有物
- 10 Other theft from premises
- 11 駐車車輛
- 12 駐輪場
- 16 関係者以外立ち入り禁止地区
- 19 Wilful damage
- 21 放火

### 解説

近年の調査は、学校内での関係のある異なった犯罪の頻度示している (Burrows et al, 1994)。その調査では1991年～1992年にかけて、402校で起きた犯罪のデータを集計している。表では、少なくとも様々な犯罪の被害を一年に一回またはそれ以上受けたという学校のパーセンテージを示している。

Hope(1982)によって行われた調査研究は、一般的特徴を持つデザインの学校は、侵入犯罪の危険への影響があることを示していた。ロンドンの59校のデータを使い、Hopeは伝統のある古い学校は戦後作られた学校よりも、より安全性が高いということを証明した。敷地面積が大きく、現代的で不恰好な学校の侵入犯罪の平均値は、コンパクトに設計された伝統ある古い学校の5倍以上であった。

問題	／	犯罪	／	学校に及ぼす影響 (%)
1	／	侵入犯罪	／	70%
		侵入犯罪未遂	／	40%
5	／	従業員への暴行	／	9%
8	／	個人の所有物の盗難	／	71%
10	／	学校の公共物の盗難	／	41%
11	／	従業員の乗り物の盗難	／	22%
19/20	／	Deliberate damage	／	67%
21	／	放火	／	19%

侵入犯罪と関連が深いデザインの特徴として：

- 建物の大きさと、その敷地（敷地面積の大きな学校とその敷地内ではより侵入犯罪が起きやすい）

- 別館が多くある（建物が多いほど、侵入犯罪も多い）
- 無駄の多いデザイン（不恰好なレイアウトでは侵入犯罪が起こりやすい）
- 木や草花などの外観風景の重視（外観を重視しすぎると侵入犯罪も起こりやすい）

これらの特徴は、学校の見張りが可能である範囲を明らかにしている。全体として2校を除き、警備室があり、警備室から見えない場所での侵入があれば、そのほとんどが記録されていた。

古い学校のセキュリティーに貢献している他の特徴としては、周囲を高い壁、もしくは柵で囲んでいるということである。戦後に立てられた学校はより外部との境界が開放されており、しばしば正門に低い壁があるのみである。

住宅街にあるコンパクトな学校は、広大な敷地に隔離されて建てられた学校よりも、多くの場合犯罪率が低い。

#### 警備強化

学校のセキュリティー改善に関する現状の提案とは、照明は侵入犯罪目的や、器物損傷、放火目的の侵入者防止に役立つというものである（Department for Education, 1993）。世間に知られている限り、学校の照明に関する研究への評価はされておらず、その査定も難しい。

必然的に、照明は警備員や周囲の道、住居やその他のformal or naturalな監視の援助があるときのみ効力を発揮する。照明は、本来安全に設計されていない学校のセキュリティーを強化するようなことはありそうにもない。

#### 参考文献

- Atkins, S Husain, S and Storey, A (1991)  
The Influence of Street Lighting on Crime and Fear of Crime
- Burrows, J, Shapland, J , Wiles, P and Leitner, M (1994)  
Arson in Schools
- Hope, T (1982)  
Burglary in Schools: the prospect for prevention
- Ramsey, M (1991)  
The Effect of Better Street Lighting on Crime and Fear of Crime: a review
- Good practice  
Cheetham, D W (1994)

Dealing with Vandalism: a guide to the control of vandalism

Department of Education and Science (1987)

Crime Prevention in Schools: practical guidance

Department of Education and Science (1989a)

Graffiti Removal and Control

Department of Education and Science (1989b)

Crime Prevention in Schools: specification, installation and maintenance of intruder alarm system

Department of Education (1993)

Crime Prevention in Schools: security lighting

Williams, D (1989)

'Lessons in security' and 'Post-vandalism'

近年の防犯対策へ向けての学校設計に関する記述

Zeisel, J (1976)

Stopping School Property Damage: design and administrative guidelines to reduce school vandalism

## その他の公共建築物

### 典型的なセキュリティー上の問題

- 1 一般的な侵入犯罪
- 8 外来客手荷物
- 10 Other theft from premises
- 11 駐車車輛
- 15 Customer only access
- 16 Staff only access
- 19 Wilful damage
- 20 落書き

### 参考文献

Good practice

East Anglian Church Security Group (1992)

Churches: A crime Prevention Strategy

Norfolk, Suffolk, Essex and Cambridgeshire警察犯罪防止課による共著

Museums and Galleries Commission

コミッション発行のセキュリティーに関する指導記録

Sussex Police (undated)

Security of Police Stations